

国連総会核軍縮関連の決議22本

核兵器禁止条約4年連続採択

【ワシントン＝島田

隆】第76回国連総会

は今月6日の本会議

で、画鋲・国際安全保

障問題を扱う第一委員

会に付託された55本の

決議を採択しました。

そのうち最も注目核軍縮

関連の決議は22本で、

2本が無投票で採択さ

れ、残りは採決に付さ

れました。主な決議の

採決結果は別表の通り

です。

決議「核兵器禁止条約」は4年連続で採択されました。条約を署名・批准した国々を中心44カ国が共同提案しました。賛成は128カ国で、2017年に条約を採択した時の賛成国数122カ国を上回っています。

同決議は、禁止条約が今年1月に発効したことを探り、まだの国には署名、批准を可能な限り早く行つよう促しています。また来年3月に開かれる第1回締約国会議に未署名・未批准の国々もオブザーバー参加するよう招待しています。核保有のカ国は足並みをそろえて反対しました。核の

傘のもじである欧州諸国なども反対しました。

決議「国際司法裁判所の勧告的意見の後追い」の賛成国は、昨年と比べて7カ国増えました。決議は、核兵器禁止条約のもとでの交渉も含めて、核軍縮につながる多国間交渉に直ちに取り組むようすべての国に求めています。

12年に34カ国が核兵器の非人道性を告発した核「共同声明」に基づく決議「核兵器の人道的結果」は15年以来、7年連続で採択されました。昨年比で反対が1カ国減り、賛成は2カ国増えました。

日本は昨年と続いて、決議「核兵器のない世界に向けた共同行動と未来志向の対話」を提出し、採択されました。同決議は核兵器禁止条約に言及していません。

決議の内容については「過去の核不拡散条約（NPT）再検討会議での合意について、一致した文言を新しい定式に書き換えて後退させる試み」（オーストリア）などと厳しい批判が出ました。

日本は決議「核兵器禁止条約」に核保有国とともに反対したうえ、同条約に書及した決議には軒並み棄権しています。

◆第76回国連総会で採択された核軍縮関連の主な決議の採決状況

決議名	賛成	反対	棄権	米	ロ	英	仏	中	印	パ	北	イ	日
核兵器の人道的結果	148	12	29	×	×	×	△	○	△	△	○	×	○
核兵器禁止条約	128	42	16	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
核軍縮に関する2013年の国連総会高級レベル会合の後追い	145	34	9	×	×	×	×	○	○	○	○	○	△
核軍縮	124	41	22	×	×	×	×	○	△	△	△	×	△
核兵器のない世界へ一核軍縮の約束実施の加速化	140	34	15	×	×	×	×	×	×	△	△	×	△
国際司法裁判所の勧告的意見の後追い	143	33	14	×	×	×	○	△	○	△	△	×	△
核兵器のない世界に向けた共同行動と未来志向の対話（日本提出）	158	4	27	○	○	○	×	△	△	△	△	○	○
核兵器のない世界への道徳的な責務	135	37	14	×	×	×	△	△	△	△	△	△	△
核兵器使用禁止協定	125	50	13	×	△	×	×	○	○	△	△	×	△

パニパキスタン、北=北朝鮮、イ=イスラエル ○=賛成、×=反対、△=棄権

(国連公表の投票記録から作成)